創業・新規事業支援

01 当行の支援メニュー

資金調達ニーズに対する 融資 相談受付
創業関連制度融資のご案内のほか、事業計画策定等に関する支援を実施

＜七十七＞創業応援パッケージ のご利用相談
当行に預金口座をお持ちの設立後5年以内の法人および開業後5年以内の個人事業主を対象に、事業にお役立ていただける様々なサービスを提供

雇用・人材マッチング に関するご相談
創業期に必要な営業・経理等の人材を紹介

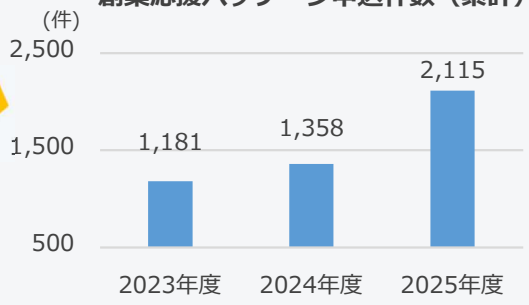
販路開拓・販路拡大 支援
当行の取引先や提携先とのビジネスマッチングをサポート

海外展開を見据えた 海外ビジネス支援 等
海外進出を目指す際に、海外販路開拓等の各種支援を実施

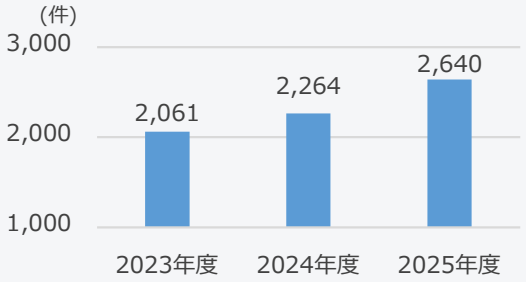
七十七ニュービジネス助成金 の贈呈
七十七ビジネス振興財団にて、新規事業活動等を志している企業を表彰し、助成金を贈呈

ベンチャーファンドを通した資金供給支援
七十七キャピタルや東北大学ベンチャーパートナーズ等と連携した出資による資金供給支援を実施

創業応援パッケージ申込件数（累計）



創業期の事業者に対する支援件数



MENU ＜七十七＞創業応援パッケージの特典一例（2026年10月時点）

サービス		特　典
インターネットバンキング		契約料無料
七十七カード	法人向けクレジットカード	年会費初年度無料
	クレジットカード加盟店	手数料最大0.15%優遇
七十七リサーチ＆コンサルティング		初年度・2年目年会費半額

2025年度から個人事業主も対象に追加



創業応援パッケージの特典一覧はこちら



02 外部機関との連携事例

「仙台スタートアップスタジオ」 との連携強化

仙台市がスタートアップ企業の立上げや成長支援等をワンストップで提供するために設置している「仙台スタートアップスタジオ」において、当行はスタジオ内にサテライト拠点を開設し、資金調達ニーズ等へ迅速に対応できる体制を整備しています。

【連携イメージ】



【出典】仙台市、NTT都市開発

七十七ニュービジネス助成金

詳細はこちら

七十七ビジネス振興財団では、宮城県を活動の拠点として独創的な技術開発や革新的な発想により新しい事業を起こし、“みやぎの活性化”に貢献しようとしている企業等に助成金を贈呈しています。



＜2026年度 公募のご案内＞
※当年度の募集は終了しています。

第28回贈呈先

【七十七ビジネス大賞】
・河北建設株式会社
【七十七ニュービジネス助成金】
・株式会社ガイア
・3D Architech合同会社
・NanoFrontier株式会社
・Blue Practice株式会社
・株式会社馬渕工業所



＜第28回贈呈式の様子＞

03 スタートアップ企業のグローバル展開支援

「東証 アジア スタートアップ ハブ」とは

株式会社東京証券取引所が2024年3月に立ち上げた「東証 アジア スタートアップ ハブ」に、当行は北海道・東北の地方銀行で唯一参画しています。
アジアの有力企業に対し、パートナー企業等と協働しながら日本での新たな事業展開にかかるサポートを行うことで、クロスボーダー企業の対日投資や東証上場を支援しています。

【サポートメニュー】



・拠点設立、工場等の立地支援
・日本企業とのビジネスマッチング
・地域情報提供
・ファイナンス支援

【支援対象企業の本社所在国】

支援対象企業はこちら

シンガポール：5社	韓国：4社
台湾：3社	ベトナム：3社
インドネシア：2社	タイ：2社
香港：1社	マレーシア：1社
モンゴル：1社	フィリピン：1社

（2026年10月時点）

仙台・東北スタートアップ・エコシステム・コンソーシアム

東北の地方公共団体、大学および金融機関等との連携を一層強化し、スタートアップ企業の立上げ支援および海外展開も含めた成長支援等をシームレスに実施することを目的に設立されました。

【概　要】

共同代表：仙台市、東北大学
構　　成：地方公共団体、東北6県の大学、金融機関等全184団体（2025年9月時点）
目　　的：東北の強み・特徴を活かしつつ、世界を見据え、社会的・経済的インパクトの創出に挑戦し続けるスタートアップ企業の輩出・育成



政府の推進する「グローバル拠点都市」に選定

取組みについてはこちら





＜設立記念イベントの様子＞

04 宮城県内における起業等の特徴

東北大学発スタートアップ企業

東北大学は国際卓越研究大学として採択された計画において、2050年までに東北大学発スタートアップ企業数を1,500社とする目標を掲げています。当行は東北大学と連携し、継続してスタートアップ企業の成長を支援します。

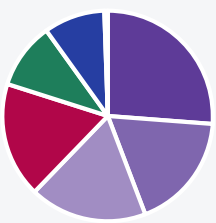
東北大学発スタートアップ企業数（※）　**283** 社

IPO件数　**6** 件
M&A件数　**4** 件

（※）2025年度までの創出数累計

東北大学発スタートアップ企業の業種別分布割合

東北大学の強みである素材・材料、機械・エレクトロニクス等のものづくり企業はもとより、医療・バイオ、環境・エネルギー、情報通信・サービス等の多様なスタートアップ企業が生まれています。

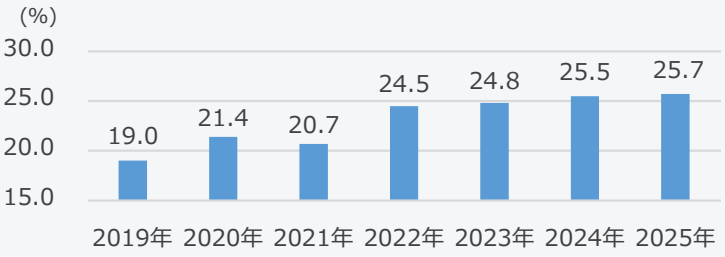


- 医療・バイオ（26.2%）
- 機械・エレクトロニクス（18.0%）
- サービス（18.0%）
- ICT（17.7%）
- 素材・材料（10.2%）
- 環境・エネルギー（9.4%）

（2026年3月時点）

女性の開業状況（全国）

開業者に占める女性起業比率は近年増加傾向にあります。



【出典】日本政策金融公庫総合研究所「新規開業実態調査」

「DATERISE！2026」への参画

仙台・東北から海外で活躍するスタートアップ企業の創出を目指す仙台市主催のイベントで、当行はスポンサーとして協賛しています。
2025年度は初開催の「DATERISE！2025」に共催し、「七十七銀行賞」を提供、2026年度は「DATERISE！2026」に協賛し、スポンサーブースを出展しました。
当行では継続して、仙台・東北から世界へ挑戦するスタートアップ企業の創出・成長支援に注力していきます。



＜DATERISE！2026＞

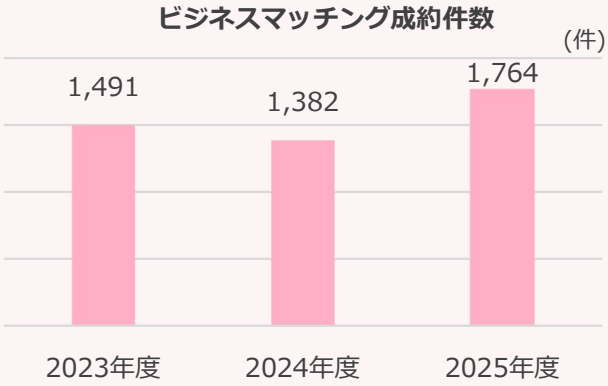
地域中核企業支援・育成

01 ビジネスマッチング・企業版ふるさと納税・販路開拓支援等

ビジネスマッチング

取引先が抱える多種多様な経営課題に最適なソリューションを提供するため、地元企業や各業界の大手企業等、約170先と連携しています。今後も取引先の持続的な成長を支援するため、様々な企業と連携していきます。

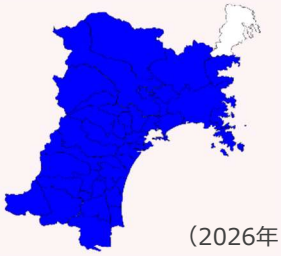




多くの経営課題解決に貢献しています！

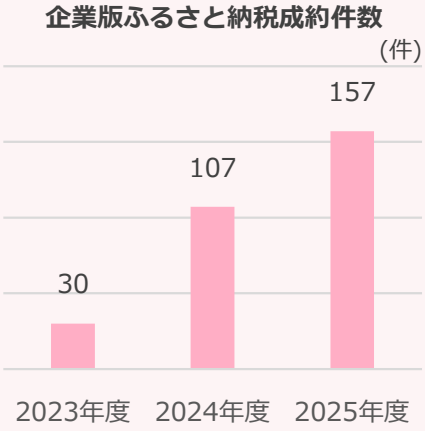
企業版ふるさと納税

地方創生に向けた取組みの一環として37の地方公共団体と企業版ふるさと納税に関する契約を締結しています。



（2026年11月時点）

宮城県35団体、福島県2団体と連携！



販路開拓支援

県内製造業の新規取引先開拓や受発注取引の拡大を目的として、県内外の発注企業と受注企業が一堂に会する商談会を開催しています。



みやぎ広域取引商談会

02 産学・外部機関連携支援

大学との産学連携支援

・宮城県内の複数大学と連携し、取引先の研究開発等に関する課題解決を支援しています。
・2024年4月より、東北大学産学連携機構へ行員を派遣し、連携を強化しています。

<連携している宮城県内の大学>

東北大学　宮城大学　東北工業大学　東北学院大学

外部機関との連携支援

様々な外部機関と連携し、地域産業の振興や取引先の多様な経営課題等の解決を支援しています。

<連携している外部機関>

科学技術振興機構、せんだい創業支援ネットワーク、知財総合支援窓口、中小機構基盤整備機構、東北経済連合会ビジネスセンター、日本政策金融公庫、みやぎ産業振興機構、宮城県よろず支援拠点、宮城県事業承継・引継ぎ支援センター

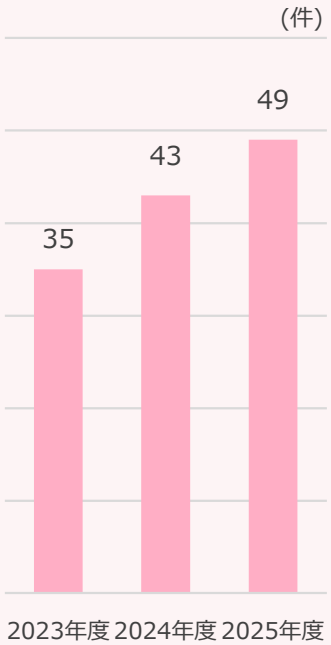
大学への相談事例

・生産工程を効率化するための指導をしてほしい
・ナノテラスを活用し、自社製品の構造やメカニズムを解明したい
・大学と共創的な活動を行い、新事業等の新たな価値を創造したい
・商品パッケージを大学の学生と一緒に考えたい
・大学とコラボレーションした飲料を製造してみたい

外部機関への相談事例

・創業に際しての事業計画を一緒に考えてほしい
・創業に必要な資金調達を相談したい
・海外販路の開拓を支援してほしい
・営業戦略を一緒に考えてほしい
・知的財産の取得にかかる助言をしてほしい
・SNSの活用を支援してほしい
・商品のマーケティングに関する助言をしてほしい

産学・外部機関連携支援相談件数



03 企業誘致

POINT 地域の豊富なネットワーク等を駆使した支援により、関係者ALL WINを実現！

企業誘致から進出後までの一貫支援

東北地方への進出を検討する企業に対し、資金調達支援から進出先に関する情報提供、取引先とのマッチング、進出後のフォローアップまで、幅広い支援を一貫して提供しています。

宮城県の立地環境（ポテンシャル）

- 東北の中心地、**人口約222万人**（2026年8月時点）
- 仙台－東京間は最短**約90分**で移動可能
- 世界100ヵ国以上とつながる**仙台塩釜港**
- 東アジアの主要都市へ羽ばたく**仙台空港**

他経済圏に広がる当行ネットワーク

宮城県を中心とした東北経済圏と他の経済圏の企業との橋渡し役を担い、これまで以上に取引先の幅広いニーズに対応するため、当行のネットワークを拡充しています。

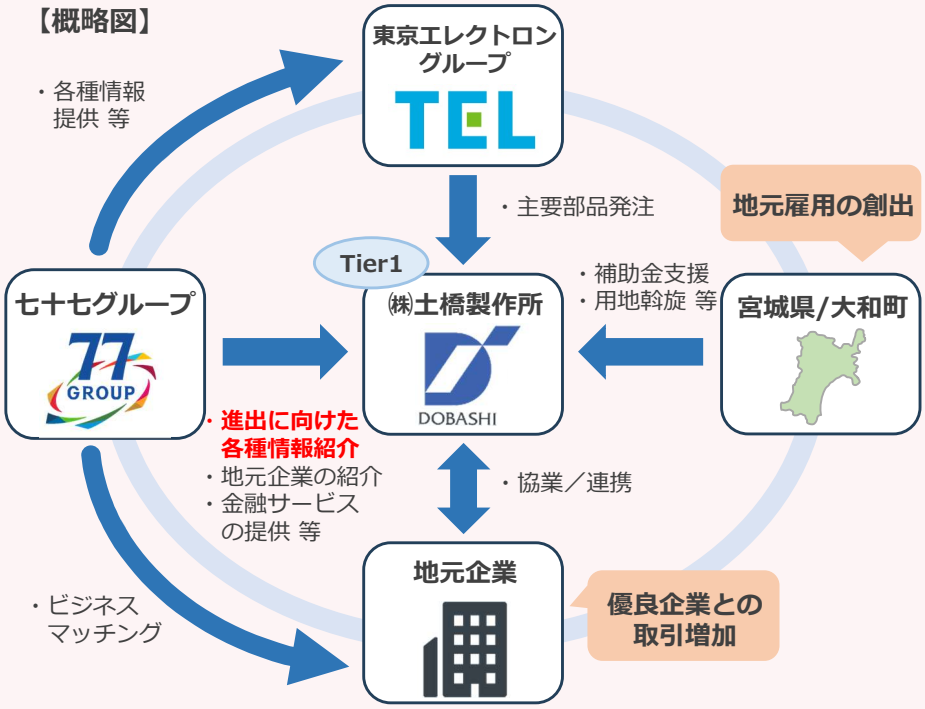
北海道から福岡まで
宮城県外に20拠点を展開

【近年の拠点開設・設置状況】
「宇都宮法人営業所」開設（2023年）
「東京サテライトデスク」設置（2025年）
「福岡法人営業所」開設（2025年）
「さいたま法人営業所」開設（2026年）

主な企業誘致実績

- 2026年2月、精密機械加工部品を手掛ける**株式会社土橋製作所（山梨県笛吹市）**が、宮城県大和町の第一仙台北部中核工業団地内に**新工場を建設**することが決定しました。
- 当行は、**進出に向けた各種情報等をご紹介**するとともに、**生活・インフラ情報の提供、地元企業とのマッチング、銀行サービスや自治体補助金等に関するご案内・サポート**など、企業の進出を幅広く支援しました。

【概略図】

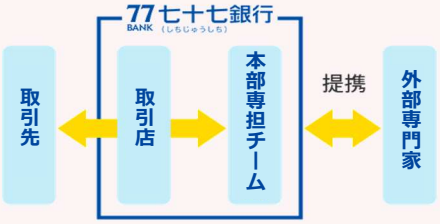


04 事業承継・M&A・IPO支援

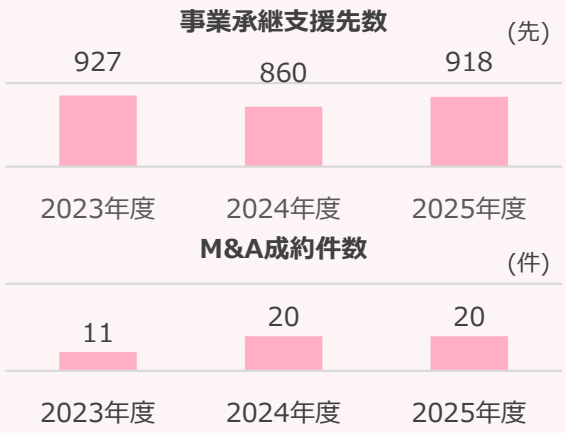
事業承継・M&A支援

・人口減少が進むなか、事業承継・M&A支援の強化を目的に専門チームを設置し取組みを強化しています。

【専門チームによる支援スキーム】



・自社株評価や株式承継対策などの事業承継支援は年間900件程度、M&Aは常時50件程度の相談に対応しています。



新規上場（IPO）支援

・2017年より、当行、東京証券取引所および東北大学による3者協定を締結し新規上場支援を展開しています。

上場のメリット

「上場」を戦略として検討できるニーズ例

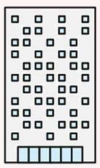
【一般市場（スタンダード市場等）】
・事業拡大に伴う、市場からの**大規模な資金調達が可能**
・財務基盤等の信用性向上に伴う、**販路拡大等の副次的な効果**
・高いガバナンス意識による、企業における**永続的発展の実現**

【東京プロマーケット（TPM）】
・将来の一般市場上場に向け、まずはTPMへの上場に挑戦**（ステップアップ上場）**
・上場による**知名度や採用力向上を最優先**
・**オーナーシップを維持した上場**


IPOプログラムの様子
（過去参加社数：39社）

個社別訪問の実施

・上記ニーズをお持ちの企業の皆さまへ、経営戦略としての上場活用をご提案します。


地元企業

・上場に関する一般的な説明
・証券会社等のご紹介
・東京証券取引所との帯同訪問
・各種プログラムのご案内

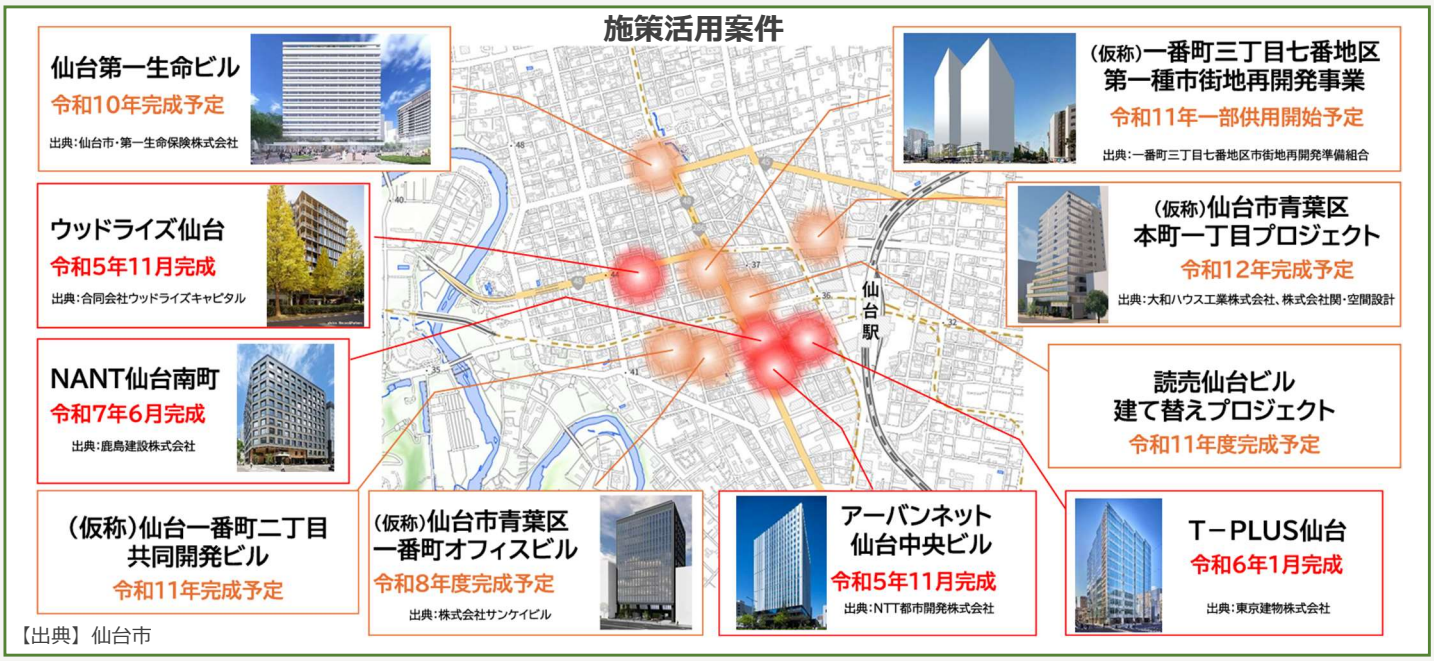

地域開発部

まちづくり事業の促進

01 せんだい都心再構築2036

NEW

仙台市中心部の市街地環境改善等を目的に仙台市より発表されたプロジェクトであり、仙台市都心部における老朽ビル等の建替と企業立地の促進による地域経済の好循環創出を目指しています。当行でも、仙台市や建設ニーズのある企業等と連携しながら情報提供を行うほか、資金供給、リーシング等の支援を行っています。



【出典】仙台市

第3弾施策（2026年5月発表）
- 「仙台市都心部建替え促進助成金制度」の強化
- 「仙台市市街地再開発事業補助金制度」の拡充
- 「研究開発施設」「宿泊施設」等に着目した容積率の緩和 等

【参考】第1弾・第2弾施策（2019年～2020年）
- 「高機能オフィスの整備」に着目した容積率の緩和 等
- 「企業立地促進助成制度」の強化 等

02 3GeV高輝度放射光施設「ナノテラス」



国・民間事業者・地域が一体となり一つの大型研究施設を整備・運用する「官民地域パートナーシップ」という新しい枠組みで整備された**世界最高水準の研究施設**です。日本における研究開発のレベルを向上させる**「ナノまで見える巨大な顕微鏡」**として多くの企業に活用されています。

ナノテラスで「見える」ことの価値

「見えなかったものが見える」ことは、経験や勘に頼っていた”ものづくり”を科学的根拠に基づく”価値創造”へと進化させます。

分野（例）	見えるもの	期待されるイノベーション
エネルギー・材料	触媒表面の化学反応、電池内部のリチウムイオンの動き	高性能触媒、次世代バッテリー軽量高強度素材の開発
医療・食品・化学	タンパク質の構造、食品中の機能性成分の分布	革新的な創薬、高付加価値食品・化粧品の研究開発
半導体・電子デバイス	半導体デバイス内部の微細な欠陥、磁性材料の構造	次世代半導体の性能向上、超省エネデバイスの開発

活用事例

住友ゴム工業株式会社

当社は、大学との共同研究を目的に、市内オフィスへの入居や共創研究所を設置するなど、地域に根差した連携体制を構築しています。研究では、タイヤと路面間の「不思議な水」をナノレベルで解明し、ウェットグリップの更なる向上を目指しています。



【出典】住友ゴム工業

ナノテラス活用促進策

NanoTerasu シェアリング2000

仙台市が**全国の企業向けに実施するナノテラスの活用促進策**で、仙台市外の企業も活用可能です。



【出典】仙台市

当行の取組み

- **資金支援**
- **ナノテラス利用促進**
- **事業計画・戦略への助言 等**

当行は構想段階から運営財団である一般財団法人光科学イノベーションセンターに監事として参画し、様々な支援を行っています。

【出典】光科学イノベーションセンター

03 仙台市 「脱炭素先行地域」

仙台市（当行含む共同提案者14団体）は、2023年11月に環境省の脱炭素先行地域にかかる第4回の公募に申請し、選定されました。2024年3月には脱炭素先行地域の取組みを推進するため、協力事業者を含めた「仙台市脱炭素先行地域プロジェクトパートナーズ」を設立し、各事業者が連携しながら各プロジェクトを進捗させています。

脱炭素先行地域



定禅寺通エリア（働く・集う）

- 既存ビルにおいて、省エネ・ＺＥＢ改修など**「業務ビルの脱炭素リノベーション」**を実施
  また、ビルオーナー・地元事業者向けに**省エネ・ＺＥＢ改修見学会**を開催
- ゼロカーボンイベントなど、脱炭素・資源循環の「見える化」を促進
- **「都市バイオマス資源」**を活用し、サステナブルなまちづくりを推進

東部沿岸エリア（学ぶ・楽しむ）

- 観光施設などへ太陽光発電を最大限導入
- EVカーシェアなど**脱炭素モビリティの導入**
- 太陽光パネルのリユースなど**防災・環境技術の実証フィールド**に活用

泉パークタウンエリア（暮らす）

- 既存住宅において、太陽光発電の導入や断熱改修など**「住宅の脱炭素リノベーション」**を実施
- **高度なエネルギーマネジメント（DR）**を既存住区で展開
- 地元工務店と連携し、リノベーション体験会や断熱スクールを開催

全エリア共通

- 清掃工場で発電した電力の環境価値を活用し、**地産地消型の再エネ電力メニュー**を創設
- 全市民を対象に、省エネ推進などの行動変容を促進
- 市営バス、ごみ収集車、配送トラックのEV化など**運輸部門の脱炭素化**

具体的な取組実績

【出典】仙台市

04 官民連携事業（PPP/PFI）の促進

近年、公共施設の老朽化等が進む一方、地方においては人口減少等が加速し、地方公共団体等の財源確保が課題となっています。PPP/PFI事業は、民間事業者の資金やノウハウ等を活用することで、官民連携による取組みを通じ、コストを削減しながら住民サービスを向上させていくことを目指す手法であり、当行も積極的な情報発信および活用促進に取り組んでいます。

当行の取組み

資金支援

事業主体となるSPC（特別目的会社）に対するファイナンスを実施しており、メイン行としてアレンジャー業務にも取り組んでいます。

セミナーの開催

MAPPの枠組みを活用し、地方公共団体や民間事業者等向けのセミナーや勉強会を開催しています。

七十七グループ会社と連携した支援

需要予測、導入可能性調査、事業方式・スキーム検討およびコンソーシアム編成にかかる民間事業者の紹介等を実施しています。

TOPIC

- 2025年8月、ウォーターPPP等を主要テーマとしたセミナーを実施しました。
  ⇒ 参加数：約110人/50団体



- セミナー以降、宮城県内で複数の地方公共団体が、ウォーターPPPにかかる導入可能性調査を実施。
  （2026年11月時点）

主なPPP/PFI実績

東北大学（片平）情報通信国際共同研究拠点施設整備事業への支援

- 東北大学では、老朽化した電気通信研究所2号館について、**PFIを活用した改築整備事業**を実施しました。
- 本施設は、企業や研究機関が利用できるレンタルラボをはじめ、学外との交流やイベントの開催等に活用できる共創スペースを備え、**産学連携・オープンイノベーションを促進する拠点**としての役割が期待されています。
- 当行は、本事業の実現に向け、SPCによる資金調達を支援し、**当行を主幹事（アレンジャー）とするシンジケート・ローン**を組成しました。



<新研究棟「グローバルコネクトハブ」>

観光振興支援等

01 東北観光金融ネットワーク（FINE+東北）

2017年3月、当行、青森銀行（現・青森みちのく銀行）、秋田銀行、岩手銀行、山形銀行、東邦銀行の東北地銀6行および日本政策投資銀行が「観光振興事業への支援に関する業務協力協定」を締結し、東北観光金融ネットワーク（愛称「FINE+東北」）を設立しました。各行のノウハウとネットワークを融合させ、東北の観光振興に向けた「地域づくり」に関する幅広い分野で連携を強化し、各種支援を行っています。

東北観光金融ネットワーク
Financial Network of TOHOKU Tourism

「FINE+東北Instagramフォトコンテスト」の開催

・東北地域における観光産業の活性化および魅力発信を目的に、「FINE+東北Instagramフォトコンテスト」を開催し、地域観光資源の掘り起こしを行っています。

・2024年12月～2025年11月の期間に実施した第6回開催では、**約33,000点**ものご応募をいただきました。

Instagram はこちら



～第6回受賞作品（一部）～



円通院
宮城県松島町



岩洞湖
岩手県盛岡市



山寺
宝珠山立石寺
山形県山形市

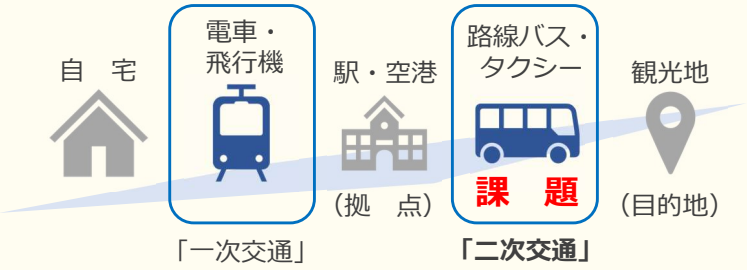
【出典】東北観光金融ネットワーク

02 二次交通へのアプローチ ～カーシェアリング事業および駐車場管理事業～ NEW

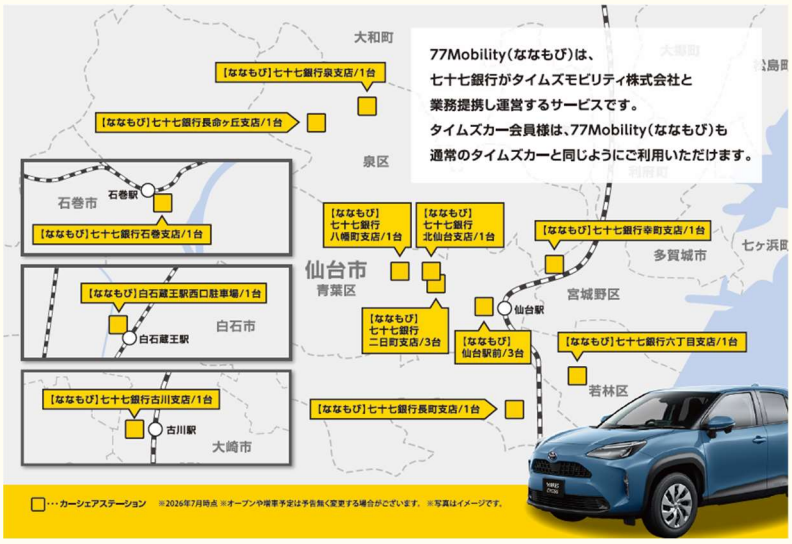
実証実験の開始

二次交通の不足という地域課題に対する具体的アプローチとして、国内トップシェアの時間貸駐車場・カーシェアリングサービスを展開するパーク２４グループと連携し、2025年12月からカーシェアリング事業「７７Mobility（ななもび）」および駐車場管理事業「７７Park（ななぱーく）」の実証実験を開始しました。

【地域における交通課題】



７７Mobility（ななもび）設置拠点の拡大



<カーシェアステーション設置拠点>

銀行敷地外としてJR白石蔵王西口に設置

2026年7月、初の銀行敷地外かつ地方公共団体との連携事業として、JR白石蔵王駅西口にステーションを設置しました。当日は、白石市の山田市長にも参加いただき、セレモニーを開催するとともに、記念すべき第1号運転者として試乗いただきました。



<セレモニーの様子>



<運転する山田市長>